

MADURO × 納得住宅工房

MADURO STYLE



Vol 2. 一番大切な家族のための パパの家創り実例編

一番大切な家族と一番上質な時間を過ごすためのMADURO STYLEの家創り。
今回は実際に納得住宅工房が施工した自宅を紹介していきます。

「静岡だから実現できた アウトドアな家創りの実例 ／前編:実際に 住んでいる家族の話」

納得住宅工房がこれまで施工してきた傑作の中から、アウトドアな家をクローズアップして、前編と後編の2回に渡り具体的に徹底取材してきました。場所は、静岡県清水町の川沿いに位置する清水さん宅にお邪魔してお話を聞いてきました。

大久保 今回は取材させていただき、ありがとうございます。それにしても、また立地も創りもユニークな家ですね。**清水英治さん（以下略称、清水）** ありがとうございます。マイホームを持つかどうかは、土地次第でした。真隣に家が建たないこと、水辺でのアウトドアが大好きなので川が近いこと、その上で富士山が毎日見られたら最高だなあ、と。で、縁があつたのがこの土地でした。段差もあって凸凹な三角形に近い土地でしたが、眼前の川や、土地と川の間の荒れた空き地も活用したら、その広さは何倍、何十倍にも及びます。久保社長も「変な土地だからこそ、やりがいがある!」と、むしろ楽しんでくれたんです。

大久保 設計に関して細かいリクエストをされたのですか？

清水 一番ウルサイ客だったと思います(笑)。担当してくださった方は苦労したんじゃないでしょうか。通常の倍以上の時間をかけて打ち合わせして、分厚い議事録が3冊に! 例えば、富



家主である清水さんと奥様の要望をすべて詰め込んだ自宅の様子。

士山や、目の前の川でカヌーに乗った私を妻や子供が見えるリビングを依頼しました。部屋全体が富士山に向かつて広く開けていく感じがしますよね? それと実はソーラーパネルを設置しているのですがどこからも見えないんです! 本当によく考えられています。

大久保 川でカヌーに乗るご主人を富士山と一緒にリビングから家族が見られる…。だから、リビングが2階だったり、一面が窓だったり、立派なテラスが隣接しているんですね。

清水 他にも、できる限り家具や電化製品、冷暖房機をビルトイン構造や備え付けにしてみました。あとは外観ですね。外から見た人に家の中はどうなっているんだろう?と思わせたかったんです。リビング横のテラスは、家族でのバーベキューや子供のプールに利用しています。家と川の間の空き地は芝生にして、大人数のバーベキュー用に使っています。この前は、会社の社員や家族、私や妻の友人たちが30人以上来てくれました。

大久保 最高ですね。家がスッキリ広く見えるのは、ビルトイン構造の賜物ですね。ちなみに、奥様のリクエストはありましたか?

奥様 生活感のない家にしたかったの

で、とりわけ収納に関しては細かく注文しました。他にも、アイランドキッチンとテーブルの高さを揃えたり、ゴミ箱の位置を人目につかないように工夫したり。それと、私はピアノの講師をしているのですが、家でピアノレッスンができるように防音室を依頼しました。その隣には、主人の会社の経理もやっているので作業や打ち合わせができるように、会議ルームと仕事部屋を創ってもらいました。そうしたら、家族と来客の動線を切り分けたほうが良いだろうということで、家族用と仕事用に玄関を2つ作ってくれたんです。

大久保 浴室の檜サウナやトレーニングジムのスペース、暖炉など、エンターテインメント性に富んだ創りはご主人のリクエストですか?

清水 家に帰ってくるのが遅く、ジムに通えないので、サウナとトレーニングスペースを作りました。暖炉は、ひと冬で2トングらい薪を燃やしています。断熱性が高いので、真冬でも汗をかかほど暖かいです。これだけ広いリビングに暖房1台です。

大久保 最後に、土地も含めた家の総費用をお教えいただけますか?

清水 ざっと7000万円ちょっとでした。造成に1000万以上かかったのですが、土地が2000万弱、建物が4000万円ちょっとでした。

大久保 サウナに暖炉に川までついで、6LDKで7000万円ちょっと?! 東京都心だったら息が詰まるような狭小住宅になってしまいます。これだけご夫婦の願望が叶えられた家がその価格だったら申し分ありませんね。今回は、このアウトドアな家創りについて、久保社長にも話を聞いてきます!

「静岡だから実現できた アウトドアな家創りの実例 ／後編:住む家族の生活を 考えた、建築家の工夫」

前ページで「アウトドアな家」、静岡県清水町の清水さん宅を紹介。ここではその後編として、建築家としてデザイナーとして、実際の図面を描いて施工した納得住宅工房の久保社長から、このアウトドアな家についてお話を伺いました。

返しても、やはり大変でしたか？

久保 清水さんの家創りは、昨日のこのようにハッキリと覚えてます。まず最初に建設予定の土地を見た時に、すごいロケーションだなと思いました。

大久保 すごいとはどういう意味でしょうか？すごく良い？それとも…？

久保 実は手を加える前のこちらの土地は、工場跡地の荒地で、しかも断崖な最悪の状態だったんです。と同時に、川と富士山が一望できる最高の眺望だな。最悪な条件の変形地と最高に良い眺めが同居してる他にないロケーションでした。これは、家を建てられる状態に持っていくまで時間がかかるなと思いましたが、清水さんから熱意をもって依頼いただいたので、やりがいも感じました。そこでこの眺望を活かし、どうにか私の得意な開放感のある家を建てられないか、清水さんの想いと私の想いを巡らせました。最初に描いた図面が、川と平行目線で伸びる2階のリビングダイニング&テラス。次に、1階に大きな車を数台置く駐車スペースを考えました。敷地面積の他に駐車スペースを取ることが難しかったので、1階の真ん中にゲートのような空間を創り、そこに駐車スペースを設けました。さらに、その左右に玄関を創ることで、向かって左側が家族用玄関、右側が奥様のピアノ教室や会社の事務所用の玄関にして、プライベートと仕事の玄関を完全2つに切り分ける図面を描きました。宙に浮かんでいるように見せるため、左側の家族用の玄関にだけ黒い石でコントラストをつけたり、黒いラインを一本上部に施して、家の全体像を引き締めました。いろんな意味でパワーのある土地だっ

たので、家その土地のパワーに負けてボンヤリ見えるのを避けるために、様々なインパクトある工夫を外観に凝らしているんです。

大久保 なるほど。確かに内観にもたくさん黒のアクセントが多用されていますね。久保社長の特徴は開放感ある家とおっしゃいましたが、そういうえぼ十八番である中庭的な吹き抜けのパティオは採用しなかったのですか？

久保 横に長い三角形の立地なので、吹き抜けのパティオよりも勾配天井が有効だと思いました。富士山や川の方に向かって屋根が高く開けているのに気づかれましたか？見晴らしが良く開放感も感じられるのは、空に向かって角度をつけた勾配天井の賜物です。これで、屋根の上に備え付けたソーラーパネルの集光率アップにも繋がっています。まさに一石二鳥の妙手です。



久保社長曰く家の中で一番滞在時間が短いからこそ、非日常空間を作りやすいのがトイレ。そこで3つあるトイレそれぞれ違った雰囲気。

えない工夫や配慮も久保社長の真骨頂ですね！あと私が気になったのは部屋の位置関係です。子供部屋とリビングの間にわざわざご主人のトレーニングルームを挟んだ配置には理由があるのでしょうか？

久保 1階をトレーニングルームにしたら、ジム好きな清水さんがトレーニングルームにこもって、2階に上がらなくなりますが。そしたら、家族との距離が離れてしまふと思ひ、あえて家の2階の真ん中近くに置かせてもらいました。適度な距離感が必要ですが、離れすぎると家族の時間が少なくなってしまうから。リビング側から見れば視線を集めるテレビがトレーニングルームに向かっているのも、その上部がガラス張りになっているのも、パパの気配を感じられるためのひと工夫です。逆に夫婦の寝室や仕事をするための事務所を1階に置いたのは、その気配を感じさせないほうがいいということ。あくまでも家の中心は家族みんなで一緒に過ごす空間と時間です。

2階のリビングから1階のピアノ教室や会社の事務所スペースに向かう階段をガラス張りのクールな作りにしたのも、オンとオフのメリハリをつけるためでした。

大久保 とことん家族の生活をリサーチして繰り返して得た情報が家創りに溶け込んでいますね。家族と一緒に過ごすための空間創りは、こんなディテールにも現れるのですね。また、心の温度感まで組んで、部屋の配置や設計をなさっていることにも、非常に感服しました。

久保 ありがとうございます。あとこ

大久保 トイレですか!? たしかに3つのトイレがありましたね。

久保 そうなんです。家族用に2つ、仕事用に1つ。合計3つのトイレを設置しています。実はトイレって一番五感を刺激するデザイン空間として楽しめる場所なんです。それはあまり人が長く止まる空間ではない…いわゆる非日常空間だからです。なので、思い切つて3つともまったく違う雰囲気にした。清水さんも喜ばれていましたね。

大久保 なるほど、トイレほどの家も同じような無難な創りです。こうしたディテールからも、帰りたいくなる家創りの工夫や、遊び心、細かい配慮が伺えます。まさに久保社長に設計してもらいたいというリクエストが絶えない理由なのですね！



川と富士山が見えるテラス。このテラスで夏はBBQや子供用のプールを楽しんでいる清水さん。



外も中も白を基調にしているのが、納得住宅工房の家創りのこだわり。シンプルなかたちからこそ、家全体に生活感と開放感が出てきます。シンプルだからこそ外観もどんな家なのか興味湧いてくること。

「家族愛を詰め込んだ カルチャーな家創りの実例 ／前編:実は奥さまの愛と 家族の未来を詰め込んで」

納得住宅工場の社長にして建築家、デザイナーとしても活躍する久保 淳さんご本人の、静岡は富士市に構えた自宅を取材。そこには一番大切な家族への愛を詰め込んだ家創りの原点が！まずはその家で一番長い時間を過ごしている奥さまに話を伺いました。



久保社長宅の外観。シャッターを閉めれば、清水さん宅同様、中が見えずどんな家か興味をそそられます。

大久保 まずは、創り手側の久保社長ではなく、このご自宅が一番長い時間を過ごしている奥さまに、お聞きしたいと思います。開放感があつて、プライベートもしっかり守られた、博物館のようなエンターテインメント性に富んだ、さすが建築家家族の住居空間ですが、いつ建てられたのですか？

奥さま 5年前です。来年には子供が生まれるので、どこを子供部屋にしようかと主人と相談しているところなんです。

大久保 それは、おめでとうございませぬ。今から楽しみですね。まるで美術館、博物館のような家ですね。アートやクルマや映画やファッションにギター、音楽など、とにかく久保社長のカルチャー志向が詰まった家ですね！

この家で奥さまが詰まった家であるご主人にリクエストなされたのはどんなところでしたか？

奥さま 細かい意向はほとんどなくて。基本は、プロである主人に一任しました。強いて言えば、料理が好きでキッチンに長くいるので、家電製品が表に出ないような創りにしてほしいということぐらいでしょうか。例えば、炊飯器から立ち上る蒸気が上手く逃げるように、炊飯器置き場の真上にダクトを通してもらったことが唯一の細かい注文でしたね。

大久保 保温の時でも湯気や匂いが出ない創りですね。炊飯器が2つあるのはなぜですか？

奥さま こちらはスーブンなんです。いつも両方がフル稼働しています。

大久保 温かいご飯とスープがいつもある。奥さまの温かい愛を感じます。引き出しの中もすごくキレイに整理されていますね！調味料も同じ容器で統一され、ラベル貼りまでされている。鍋やお皿、グラスも大人数のパーティーができるくらい充実、レストランみたいです。久保社長と奥さまの2人暮らしにしては、ものすごい数ですね。

奥さま 家にお客さんを招いて、パーティーしたりワイン会をしたりと、とにかくホームパーティーをよくするんです。人が多く集まれる開放的な広いダイニング空間、レストランみたいな家というのも、料理好きで振舞い好



アイランドキッチンから全体が見えるようになっているダイニング。そこから見える中庭、そしてヨガのトレーニングスペースと久保社長の奥様の夢を詰め込んだ家になっています。

きな私の夢でした。なので、アイランドキッチンから隅々まで見渡せるようにダイニングから中庭テラスまでを活用できるレイアウトは、まさに私の夢の実現。本当に気に入っています。ダイニングから中庭パティオにつながる窓が全開にできるので、開放感で、中と外でワイワイやるのが、ホント楽しくて！だから、ワイン会ではワインセラー1庫では足りないぐらいなんですよ。

大久保 まさに夢の実現ですね！

奥さま また愛犬のボンドは足が細いので、ジャンプした後に着地で足を痛めてしまわないように、硬い床を避けてもらいました。自然な凸凹のある無垢材を使ったフローリングは柔らかい感触です。ペットや小さなお子さんがいる。ご家庭にピッタリなんです。

大久保 フローリングを裸足で歩かせてもらったんですが、凸凹していることで木のぬくもりがしっかり伝わってきて、足に最高に気持ちいいですね。

レイアウトやデザインはもちろん、こうした細かな配慮が所々にあり、住心地は最高ですね！生まれてくるお子さんがハイハイするのに最高ですね！

奥さま そうですね！他にも例えば、これからの寒い冬は、床下から吹くエアコンを備え付けているので、足元からポカポカと暖かくて。天井に備え付けられたエアコンをつけたら汗をかきほています。乾燥しにくいので、喉も痛くなりません。生まれてくる子供にとって、優しい環境です。あと、通気性の良い漆喰の塗り壁は消臭効果もあり、料理などの臭いもこもりにくい開放的な創りで、結露にもなりません。

大久保 2階にある広々としたウォークインクローゼットもご主人用と奥さま用で別々にありますし、和の風情溢れるお洒落な目積畳の部屋もある。とにかく羨ましい限りです。

奥さま 富士山をイメージして特注した青い畳を敷き詰めた和室ですが、最

近は全面マットを敷いてヨガルームとして使っています。家でも体を動かせるように先生をご自宅にお呼びして、ヨガや体幹トレーニングをしています。最近、小さなトラランポリンを買って、ポンポン跳ねてます(笑)。料理にパーティーに愛犬にヨガなど、家で発散できる仕掛けがたくさんあるので、出せない私はこの家をとて気に入っています。

大久保 奥さまはほとんど家創りのリクエストをしなかったとおっしゃいましたが、建築家であるご主人が実はちゃんと奥さまの夢と希望を家創りに詰め込んでいたのです。これぞ、一番大切な家族と一番大切な時間を過ごすMADURO STYLEの家創りの原点。車、映画、音楽、ギター、ファッション、アートなど、とにかく趣味多彩なカルチャー志向のご主人の嗜好性が優先された家に見えて、実はちゃんと奥さまに寄り添った創りなんです。細かい設計デザインについて、次回久保社長に直接お話を聞きましょう。ありがとうございます！



リビング側から見たダイニングキッチン。ホームパーティで多くの人が訪れてもいいよう広めの設計に。

「家族愛を詰め込んだ カルチャーな家創りの実例 ／後編:建築家が自分の 趣味を詰め込んだ空間」

納得住宅工房久保社長の奥さまから自宅の住み心地について伺った前ページ。ここでは後編として久保社長ご本人に、設計者視点で見た家創りについてお聞きしました。そこにはギターにクルマなど自分の趣味をうまく取り入れた家創りの考えがありました。

グレーでシャドウをつけたデザインにしました。単色だとつべりと平たんに見えてしまい、ともすれば面白くない家に見えてしまいます。グレーは毎日の生活の中でも落ち着く色で、光と陰を表現しやすく、陰影は日本人の心を落ち着かせます。京都の中庭のある町家がまさにそれで、その陰影をつけるために中庭的なパティオもよく採用してらるんです。ヨーロッパの家もパティオで陰影をつけてますので、どこか落ち着くんです。自然な光を取り入れた陰影と、色のコンビネーションで創った人工的な陰影によって、僕が多用している高さ2.4m厚さ6cmのドッシリしたドアや装飾物もインテリアとして、よく映えるんです。あと余談ですが、僕の趣味の空間はグレー基調、妻が過ごすダイニングなどの空間は白基調で設定しました。

な所が吹き抜けだったり、手を抜いたと言われますが、久保デザインの持ち味が至るところに見受けられます。
久保 ちょうど先日、MADUROさんで取材していただいた清水さんも、この家にいらして、うちの壁を見て選んでいかれました。納得住宅工房で家を建てられるお客様のモデルハウスのにも活用していますので、壁、ドア、吹き抜け空間、キッチンなど、うちのディテール全てがお客様のサンプルになっています。実際に私と家族が住んでいますから、モデルハウスより参考になると思います。
久保 デザイナーが実際に住んでいる家を見ながら、その内装や設計を取り入れられるなんて、普通の注文建築では考えられないサービスだと思います。玄関の外の石壁も、清水さん始めお客様が何人が採用されましたね！玄関を入ると左がすぐに吹き抜け空間になっていますね。そこにギターやクルマの模型やワインやシングルモルト

久保 全く逆で、一番手を抜きました(笑)。1時間もかからないで図面ができました：なんて言ったら妻に怒られてしまいますね。一見すると白い家な印象を受けますが、実はグレーが基調なんです。ヌケ感を出したいところだけ、白をアクセントとして使ってます。
久保 久保デザインの色使いを見るとワントーンではなく、シックな色同士をコンビネーションさせることが外観でも内観でも所々に見られますが、意識なさっていますか？ また、なぜグレーを基調になされたのでしょうか。
久保 色のコンビ使いはとても意識しています。私の自宅の場合は、白とグレーのコンビネーションで、人工的に



趣味のギターやクルマの模型、そしてウイスキーやワインなど久保社長の趣味をそのまま詰め込んだ部屋。吹き抜けになっており、解放感も◎。さらに庭も得意とする中庭仕様で、どの部屋からも見えるように。

が置いてありましたが、あそこが久保社長の趣味の空間なんですか？
久保 最初は自宅の仕事の打ち合わせなどをやる際の客間の空間でした。ですが、趣味のシガーを楽しむ部屋として使うことが多くなり、そのうち家全体が禁煙になってしまい、今は僕がお酒を飲んで趣味を楽しむ空間になっています。
久保 で、その上が秘密基地的な書斎と、ギター部屋の保管庫のような空間になっていました。まさにこんな家に住んでみたいという男の夢そのものです。ギターは何本ぐらいい持ちなんですか？
久保 30本以上です。納得住宅工房の社員からプレゼントされたものから、僕の師匠でRCサクセションの元ギタリストでもある小川銀次さんの遺品、高価なヴァイオリンなど、私の大好きなモデルばかりです。
久保 ウォークインクローゼットも靴、鞆、時計、服がセレクトショップのようにきちんと飾られていて、クローゼットというよりはコレクション的な趣味の空間でした。また、リビングや所々に飾られている絵画や写真、模型なども実にセンスが良く、まるでミュージアムのような感じです。
久保 ありがとうございます。ファッションは大好きなので、ほとんどモノが増えていく一方ですが、妻とクローゼットが別々にありますので文句を言われなくて(笑)助かっています。絵や模型は『007』など映画をモチーフとしたものが多いですね。
久保 ガレージにはボルシェ、マセラティ、アストンが顔を揃えています。たし、音楽、ファッション、アート、

【納得住宅工房 Co.,Ltd.】代表取締役 CEO

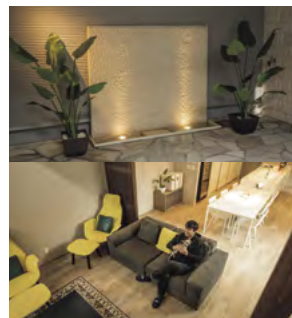
久保 淳

1999年、納得住宅工房を設立。2019年現在、静岡県内にショールーム5店舗とモデルハウス2棟を展開。住宅、エクステリアに関する数々の賞を受賞。施主の感性や理想を引き出す設計提案、欧州のトレンドや伝統を取り入れた建材やオーガニック素材、ハイスペックな住宅性能をトータルコーディネートしたオーダーメイド住宅を年間150棟ほど手掛けている。アパレルショップ「ポルタロッサ」のオーナーでもある。 <https://www.nattoku.jp>

【RR デジタルメディア】代表取締役

大久保清彦

『LEON』を企画創刊し、その後『OCEANS』、『ローリング・ストーン日本版』を企画創刊。『ヨガジャーナル日本版』のオンラインを立ち上げ、セブン&アイ出版の常務執行役員を経て、2018年に設立したRRデジタルメディアでは、自身が総編集長を務める『MADURO』の他、『ソトコト』、『THE RAKE』を傘下に収め、オンライン化を果たす。自身も一見のパパとして、仕事と子育ての両立に奮闘中。 <https://maduro-online.jp>



中庭に設置してあるウォーターガーデンなど、格好よくも寛げる空間がたくさん。

そしてクルマと、男が愛すべきカルチャーが詰まった家ですよ。住空間としても完成されていますが、コレクションハウス、ミュージアムとしての魅力もある。カルチャーテーマパークさながらの面白味を感じました。
久保 嬉しいですね。ぜひ大久保さんが納得住宅工房で静岡に家を建てるときの参考になさってください(笑)。
大久保 近いうちに実現したいです♡

より詳しく知りたい人はMADURO STYLEのウェブサイトへ

www.maduro-style.com